





学校が再開し、机の間隔を空けホームルームで校内放送を聞く県立静岡高の生徒。25日午前8時すぎ

新型コロナウイルス  
特措法に基づく緊急事  
態宣言の解除を受け、  
臨時休校中の県立高が  
25日、6月1日からと  
していた予定を前倒し  
して約1カ月半ぶりに再開した。各校は感染リス  
クを避けるため、窓の開放や時差登校などの「新  
しい生活様式」を徹底して生徒を迎えた。

## 県立高 新生活様式で再開

### 静岡の小中学校も

## 勉強、友情「取り戻す」

解答例

静岡市葵区の静岡高では、マスクを着用した生徒が自転車や徒歩で続々と登校し、友人とあいさつを交わして久しぶりの再会を喜び合った。各教室は窓とドアを開放し、できるだけ座席を離して朝のホームルームを実施。廊下には消毒液を置いて利用を促した。担任教師が「発熱があると登校しない」「食事は対面を避ける」などの注意点を説明した。

同校によると、当面は短縮授業とするが、夏休みを短くするなど、の対応で授業の遅れを取り戻していくという。

JR浜松駅北口のバスターミナルや遠州鉄道沿線のバス停は25日早期から、マスクを着用して登校する生徒の姿が見られた。

浜松市西区のバス停で待っていた浜松湖東高1年の熊倉彩夢さん（15）は「入学してからクラスの同級生とまだ十分に交流できていない。マスク着用と手洗いを徹底して勉強に励みたい」と話した。

沼津市の沼津西高は登校時間を通常より約40分遅らせて再開した。公共交通機関の利用者に混雑の少ない時間帯や車両への乗車を呼び掛け、教室の席をずらして並べるなど感染予防を徹底した。勝間田浩文教頭は「生徒との面談時間も設け、心のケアに努めたい」と話した。

裾野市から電車で通学する3年の渡辺竜吾さん（17）は友人との再会を喜びつつ「受験があるので学習の遅れが心配。気持ちを切り替え、遅れを取り戻したい」と気を引き締めた。

県立特別支援学校や静岡市、掛川市、菊川市など各地の小中学校も25日、再開した。

2020年5月25日  
夕刊 中部版

- ①記事中の学校の例では、授業の遅れをどのようにして取り戻そうとしているのか書きなさい。  
( **夏休みを短くするなど。** )
- ②記事の中から、「新生活様式」にあてはまると思われる記述を見つけ、線を引きなさい。
- ③記事を参考に、今後の学校生活において、あなたが特に気を付けたい点について30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例) 休み時間ごとに、こまめな換気と手洗いを徹底したい。(25字)  
友人との会話はお互いに離れた座席に座った状態で行いたい。(28字)  
体育の実技では、他の生徒と距離を置いて取り組みたい。(26字) など

年 組 名前